

表31. 性教育や健康教育に関連した児童・生徒への関わり経験(経験年数区分別)

	E県・保健体育										全体 n=1,164	p値	
	0～9年 n=405		10～19年 n=223		20～29年 n=248		30年以上 n=282		無回答 n=6				
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)			
生徒と関わり_いじめ													
数多くある	8	(2.0)	10	(4.5)	23	(9.3)	12	(4.3)	–	(0.0)	53	(4.6)	0.000
まあまあある	44	(10.9)	50	(22.4)	53	(21.4)	56	(19.9)	1	(16.7)	204	(17.5)	
数は少ないがある	214	(52.8)	127	(57.0)	144	(58.1)	183	(64.9)	5	(83.3)	673	(57.8)	
一切ない	131	(32.3)	35	(15.7)	25	(10.1)	23	(8.2)	–	(0.0)	214	(18.4)	
無回答	8	(2.0)	1	(0.4)	3	(1.2)	8	(2.8)	–	(0.0)	20	(1.7)	
生徒と関わり_いじめ													
関わったことがある	266	(65.7)	187	(83.9)	220	(88.7)	251	(89.0)	6	(100.0)	930	(79.9)	0.000
関わったことはない	139	(34.3)	36	(16.1)	28	(11.3)	31	(11.0)	–	(0.0)	234	(20.1)	
生徒と関わり_不登校													
数多くある	21	(5.2)	24	(10.8)	43	(17.3)	33	(11.7)	1	(16.7)	122	(10.5)	0.000
まあまあある	68	(16.8)	78	(35.0)	88	(35.5)	94	(33.3)	3	(50.0)	331	(28.4)	
数は少ないがある	195	(48.1)	108	(48.4)	110	(44.4)	143	(50.7)	2	(33.3)	558	(47.9)	
一切ない	112	(27.7)	12	(5.4)	6	(2.4)	6	(2.1)	–	(0.0)	136	(11.7)	
無回答	9	(2.2)	1	(0.4)	1	(0.4)	6	(2.1)	–	(0.0)	17	(1.5)	
生徒と関わり_不登校													
関わったことがある	284	(70.1)	210	(94.2)	241	(97.2)	270	(95.7)	6	(100.0)	1,011	(86.9)	0.000
関わったことはない	121	(29.9)	13	(5.8)	7	(2.8)	12	(4.3)	–	(0.0)	153	(13.1)	
生徒と関わり_自傷行為													
数多くある	19	(4.7)	14	(6.3)	28	(11.3)	14	(5.0)	1	(16.7)	76	(6.5)	0.000
まあまあある	43	(10.6)	36	(16.1)	45	(18.1)	48	(17.0)	1	(16.7)	173	(14.9)	
数は少ないがある	182	(44.9)	134	(60.1)	144	(58.1)	161	(57.1)	2	(33.3)	623	(53.5)	
一切ない	154	(38.0)	38	(17.0)	29	(11.7)	52	(18.4)	2	(33.3)	275	(23.6)	
無回答	7	(1.7)	1	(0.4)	2	(0.8)	7	(2.5)	–	(0.0)	17	(1.5)	
生徒と関わり_自傷行為													
関わったことがある	244	(60.2)	184	(82.5)	217	(87.5)	223	(79.1)	4	(66.7)	872	(74.9)	0.000
関わったことはない	161	(39.8)	39	(17.5)	31	(12.5)	59	(20.9)	2	(33.3)	292	(25.1)	
生徒と関わり_過食・拒食													
数多くある	3	(0.7)	9	(4.0)	10	(4.0)	8	(2.8)	–	(0.0)	30	(2.6)	0.000
まあまあある	26	(6.4)	23	(10.3)	34	(13.7)	41	(14.5)	–	(0.0)	124	(10.7)	
数は少ないがある	131	(32.3)	118	(52.9)	158	(63.7)	169	(59.9)	4	(66.7)	580	(49.8)	
一切ない	238	(58.8)	72	(32.3)	44	(17.7)	57	(20.2)	2	(33.3)	413	(35.5)	
無回答	7	(1.7)	1	(0.4)	2	(0.8)	7	(2.5)	–	(0.0)	17	(1.5)	
生徒と関わり_過食・拒食													
関わったことがある	160	(39.5)	150	(67.3)	202	(81.5)	218	(77.3)	4	(66.7)	734	(63.1)	0.000
関わったことはない	245	(60.5)	73	(32.7)	46	(18.5)	64	(22.7)	2	(33.3)	430	(36.9)	
生徒と関わり_薬物乱用													
数多くある	1	(0.2)	4	(1.8)	5	(2.0)	5	(1.8)	–	(0.0)	15	(1.3)	0.000
まあまあある	12	(3.0)	8	(3.6)	13	(5.2)	15	(5.3)	–	(0.0)	48	(4.1)	
数は少ないがある	27	(6.7)	54	(24.2)	94	(37.9)	107	(37.9)	1	(16.7)	283	(24.3)	
一切ない	356	(87.9)	155	(69.5)	128	(51.6)	143	(50.7)	5	(83.3)	787	(67.6)	
無回答	9	(2.2)	2	(0.9)	8	(3.2)	12	(4.3)	–	(0.0)	31	(2.7)	
生徒と関わり_薬物乱用													
関わったことがある	40	(9.9)	66	(29.6)	112	(45.2)	127	(45.0)	1	(16.7)	346	(29.7)	0.000
関わったことはない	365	(90.1)	157	(70.4)	136	(54.8)	155	(55.0)	5	(83.3)	818	(70.3)	
生徒と関わり_DV													
数多くある	4	(1.0)	1	(0.4)	2	(0.8)	3	(1.1)	–	(0.0)	10	(0.9)	0.000
まあまあある	13	(3.2)	20	(9.0)	16	(6.5)	16	(5.7)	–	(0.0)	65	(5.6)	
数は少ないがある	117	(28.9)	103	(46.2)	120	(48.4)	98	(34.8)	1	(16.7)	439	(37.7)	
一切ない	263	(64.9)	98	(43.9)	106	(42.7)	156	(55.3)	5	(83.3)	628	(54.0)	
無回答	8	(2.0)	1	(0.4)	4	(1.6)	9	(3.2)	–	(0.0)	22	(1.9)	
生徒と関わり_DV													
関わったことがある	134	(33.1)	124	(55.6)	138	(55.6)	117	(41.5)	1	(16.7)	514	(44.2)	0.000
関わったことはない	271	(66.9)	99	(44.4)	110	(44.4)	165	(58.5)	5	(83.3)	650	(55.8)	

表31. 性教育や健康教育に関連した児童・生徒への関わり経験(経験年数区分別)

	E県・保健体育										全体 n=1,164	p値	
	0~9年 n=405		10~19年 n=223		20~29年 n=248		30年以上 n=282		無回答 n=6				
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)			
生徒と関わり_性被害													
数多くある	1	(0.2)	-	(0.0)	2	(0.8)	2	(0.7)	-	(0.0)	5	(0.4)	0.000
まあまあある	3	(0.7)	14	(6.3)	11	(4.4)	11	(3.9)	1	(16.7)	40	(3.4)	
数は少ないがある	85	(21.0)	74	(33.2)	102	(41.1)	111	(39.4)	1	(16.7)	373	(32.0)	
一切ない	309	(76.3)	134	(60.1)	129	(52.0)	151	(53.5)	4	(66.7)	727	(62.5)	
無回答	7	(1.7)	1	(0.4)	4	(1.6)	7	(2.5)	-	(0.0)	19	(1.6)	
生徒と関わり_性被害													
関わったことがある	89	(22.0)	88	(39.5)	115	(46.4)	124	(44.0)	2	(33.3)	418	(35.9)	0.000
関わったことはない	316	(78.0)	135	(60.5)	133	(53.6)	158	(56.0)	4	(66.7)	746	(64.1)	
生徒と関わり_妊娠													
数多くある	3	(0.7)	3	(1.3)	3	(1.2)	4	(1.4)	-	(0.0)	13	(1.1)	0.000
まあまあある	8	(2.0)	11	(4.9)	11	(4.4)	16	(5.7)	1	(16.7)	47	(4.0)	
数は少ないがある	90	(22.2)	102	(45.7)	137	(55.2)	129	(45.7)	1	(16.7)	459	(39.4)	
一切ない	297	(73.3)	106	(47.5)	93	(37.5)	126	(44.7)	4	(66.7)	626	(53.8)	
無回答	7	(1.7)	1	(0.4)	4	(1.6)	7	(2.5)	-	(0.0)	19	(1.6)	
生徒と関わり_妊娠													
関わったことがある	101	(24.9)	116	(52.0)	151	(60.9)	149	(52.8)	2	(33.3)	519	(44.6)	0.000
関わったことはない	304	(75.1)	107	(48.0)	97	(39.1)	133	(47.2)	4	(66.7)	645	(55.4)	
生徒と関わり_性感染症													
数多くある	4	(1.0)	3	(1.3)	-	(0.0)	1	(0.4)	-	(0.0)	8	(0.7)	0.000
まあまあある	12	(3.0)	6	(2.7)	6	(2.4)	11	(3.9)	-	(0.0)	35	(3.0)	
数は少ないがある	48	(11.9)	67	(30.0)	72	(29.0)	62	(22.0)	1	(16.7)	250	(21.5)	
一切ない	334	(82.5)	146	(65.5)	165	(66.5)	201	(71.3)	5	(83.3)	851	(73.1)	
無回答	7	(1.7)	1	(0.4)	5	(2.0)	7	(2.5)	-	(0.0)	20	(1.7)	
生徒と関わり_性感染症													
関わったことがある	64	(15.8)	76	(34.1)	78	(31.5)	74	(26.2)	1	(16.7)	293	(25.2)	0.000
関わったことはない	341	(84.2)	147	(65.9)	170	(68.5)	208	(73.8)	5	(83.3)	871	(74.8)	
生徒と関わり_HIV/AIDS													
数多くある	0	(0.0)	2	(0.9)	-	(0.0)	1	(0.4)	-	(0.0)	3	(0.3)	0.514
まあまあある	2	(0.5)	1	(0.4)	1	(0.4)	2	(0.7)	-	(0.0)	6	(0.5)	
数は少ないがある	9	(2.2)	5	(2.2)	6	(2.4)	8	(2.8)	1	(16.7)	29	(2.5)	
一切ない	387	(95.6)	214	(96.0)	236	(95.2)	263	(93.3)	5	(83.3)	1,105	(94.9)	
無回答	7	(1.7)	1	(0.4)	5	(2.0)	8	(2.8)	-	(0.0)	21	(1.8)	
生徒と関わり_HIV/AIDS													
関わったことがある	11	(2.7)	8	(3.6)	7	(2.8)	11	(3.9)	1	(16.7)	38	(3.3)	0.356
関わったことはない	394	(97.3)	215	(96.4)	241	(97.2)	271	(96.1)	5	(83.3)	1,126	(96.7)	
生徒と関わり_同性愛													
数多くある	1	(0.2)	-	(0.0)	1	(0.4)	-	(0.0)	-	(0.0)	2	(0.2)	0.051
まあまあある	2	(0.5)	1	(0.4)	1	(0.4)	2	(0.7)	-	(0.0)	6	(0.5)	
数は少ないがある	26	(6.4)	24	(10.8)	24	(9.7)	13	(4.6)	-	(0.0)	87	(7.5)	
一切ない	367	(90.6)	192	(86.1)	212	(85.5)	245	(86.9)	6	(100.0)	1,022	(87.8)	
無回答	9	(2.2)	6	(2.7)	10	(4.0)	22	(7.8)	-	(0.0)	47	(4.0)	
生徒と関わり_同性愛													
関わったことがある	29	(7.2)	25	(11.2)	26	(10.5)	15	(5.3)	-	(0.0)	95	(8.2)	0.070
関わったことはない	376	(92.8)	198	(88.8)	222	(89.5)	267	(94.7)	6	(100.0)	1,069	(91.8)	
生徒と関わり_性同一性障害													
数多くある	2	(0.5)	-	(0.0)	1	(0.4)	-	(0.0)	-	(0.0)	3	(0.3)	0.001
まあまあある	1	(0.2)	1	(0.4)	1	(0.4)	2	(0.7)	-	(0.0)	5	(0.4)	
数は少ないがある	30	(7.4)	40	(17.9)	38	(15.3)	24	(8.5)	-	(0.0)	132	(11.3)	
一切ない	363	(89.6)	176	(78.9)	198	(79.8)	234	(83.0)	6	(100.0)	977	(83.9)	
無回答	9	(2.2)	6	(2.7)	10	(4.0)	22	(7.8)	-	(0.0)	47	(4.0)	
生徒と関わり_性同一性障害													
関わったことがある	33	(8.1)	41	(18.4)	40	(16.1)	26	(9.2)	-	(0.0)	140	(12.0)	0.000
関わったことはない	372	(91.9)	182	(81.6)	208	(83.9)	256	(90.8)	6	(100.0)	1,024	(88.0)	

表32. 同性愛や性同一性障害について児童・生徒と関わったことがある教員の対応方法(経験年数区分別)

	E県・保健体育										全体 n=165	p値	
	0~9年 n=43		10~19年 n=46		20~29年 n=46		30年以上 n=30		無回答 n=0				
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)			
「同性愛」「性同一性障害」について、生徒と関わった時に、他に相談したり情報収集したか													
養護教諭に相談した	13	(30.2)	18	(39.1)	18	(39.1)	15	(50.0)	-	(0.0)	64	(38.8)	0.227
スクールカウンセラーに相談した	5	(11.6)	7	(15.2)	8	(17.4)	6	(20.0)	-	(0.0)	26	(15.8)	0.357
他の教員に相談した	24	(55.8)	25	(54.3)	18	(39.1)	11	(36.7)	-	(0.0)	78	(47.3)	0.080
性を扱うNPOに相談した	0	(0.0)	1	(2.2)	-	(0.0)	2	(6.7)	-	(0.0)	3	(1.8)	0.079
保健医療職に相談した	1	(2.3)	3	(6.5)	4	(8.7)	-	(0.0)	-	(0.0)	8	(4.8)	0.146
インターネットや本で情報収集	12	(27.9)	9	(19.6)	3	(6.5)	7	(23.3)	-	(0.0)	31	(18.8)	0.035
友人や知人に相談した	4	(9.3)	1	(2.2)	2	(4.3)	1	(3.3)	-	(0.0)	8	(4.8)	0.193
その他	5	(11.6)	4	(8.7)	5	(10.9)	4	(13.3)	-	(0.0)	18	(10.9)	0.399
相談・情報収集していない	9	(20.9)	11	(23.9)	17	(37.0)	5	(16.7)	-	(0.0)	42	(25.5)	0.105

表33. 同性愛と性同一性障害についての認識(経験年数区分別)

	E県・保健体育										全体 n=1,164	p値	
	0~9年 n=405		10~19年 n=223		20~29年 n=248		30年以上 n=282		無回答 n=6				
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)			
同性愛は精神的な病気のひとつだと思う													
そう思う	17	(4.2)	15	(6.7)	21	(8.5)	26	(9.2)	1	(16.7)	80	(6.9)	0.001
そう思わない	284	(70.1)	136	(61.0)	136	(54.8)	142	(50.4)	3	(50.0)	701	(60.2)	
わからない	98	(24.2)	69	(30.9)	86	(34.7)	110	(39.0)	2	(33.3)	365	(31.4)	
無回答	6	(1.5)	3	(1.3)	5	(2.0)	4	(1.4)	-	(0.0)	18	(1.5)	
男性同性愛者(ゲイ)の多くは女性的な言葉やしぐさ(おネエ)であるように思う													
そう思う	51	(12.6)	27	(12.1)	29	(11.7)	49	(17.4)	-	(0.0)	156	(13.4)	0.000
そう思わない	248	(61.2)	140	(62.8)	129	(52.0)	117	(41.5)	5	(83.3)	639	(54.9)	
わからない	101	(24.9)	54	(24.2)	85	(34.3)	111	(39.4)	1	(16.7)	352	(30.2)	
無回答	5	(1.2)	2	(0.9)	5	(2.0)	5	(1.8)	-	(0.0)	17	(1.5)	
女性同性愛者(レズビアン)の多くは男性的な言葉やしぐさであるように思う													
そう思う	30	(7.4)	11	(4.9)	12	(4.8)	15	(5.3)	-	(0.0)	68	(5.8)	0.000
そう思わない	269	(66.4)	151	(67.7)	142	(57.3)	139	(49.3)	5	(83.3)	706	(60.7)	
わからない	98	(24.2)	59	(26.5)	89	(35.9)	124	(44.0)	1	(16.7)	371	(31.9)	
無回答	8	(2.0)	2	(0.9)	5	(2.0)	4	(1.4)	-	(0.0)	19	(1.6)	
同性愛者になるか異性愛者になるか、本人の希望によって選択できると思う													
そう思う	198	(48.9)	99	(44.4)	72	(29.0)	94	(33.3)	3	(50.0)	466	(40.0)	0.000
そう思わない	89	(22.0)	51	(22.9)	60	(24.2)	52	(18.4)	1	(16.7)	253	(21.7)	
わからない	111	(27.4)	71	(31.8)	111	(44.8)	132	(46.8)	2	(33.3)	427	(36.7)	
無回答	7	(1.7)	2	(0.9)	5	(2.0)	4	(1.4)	-	(0.0)	18	(1.5)	
同性愛者は治療や努力で異性愛に変えることができると思う													
そう思う	16	(4.0)	3	(1.3)	7	(2.8)	20	(7.1)	1	(16.7)	47	(4.0)	0.000
そう思わない	200	(49.4)	126	(56.5)	107	(43.1)	88	(31.2)	2	(33.3)	523	(44.9)	
わからない	184	(45.4)	91	(40.8)	129	(52.0)	170	(60.3)	3	(50.0)	577	(49.6)	
無回答	5	(1.2)	3	(1.3)	5	(2.0)	4	(1.4)	-	(0.0)	17	(1.5)	
性同一性障害と同性愛の区別がよくわからない													
そう思う	89	(22.0)	50	(22.4)	39	(15.7)	39	(13.8)	1	(16.7)	218	(18.7)	0.000
そう思わない	223	(55.1)	110	(49.3)	109	(44.0)	127	(45.0)	1	(16.7)	570	(49.0)	
わからない	88	(21.7)	61	(27.4)	93	(37.5)	110	(39.0)	4	(66.7)	356	(30.6)	
無回答	5	(1.2)	2	(0.9)	7	(2.8)	6	(2.1)	-	(0.0)	20	(1.7)	
性同一性障害と同性愛は同じようなものだと思う													
そう思う	38	(9.4)	10	(4.5)	12	(4.8)	10	(3.5)	1	(16.7)	71	(6.1)	0.005
そう思わない	255	(63.0)	134	(60.1)	133	(53.6)	162	(57.4)	2	(33.3)	686	(58.9)	
わからない	107	(26.4)	77	(34.5)	98	(39.5)	107	(37.9)	3	(50.0)	392	(33.7)	
無回答	5	(1.2)	2	(0.9)	5	(2.0)	3	(1.1)	-	(0.0)	15	(1.3)	

表34. 同性愛と性同一性障害と思われる児童・生徒の存在認識(経験年数区分別)

	E県・保健体育										全体 n=1,164	p値	
	0～9年 n=405		10～19年 n=223		20～29年 n=248		30年以上 n=282		無回答 n=6				
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)			
男子(女子)だけれども男子(女子)トイレを使いたがらない生徒がいた													
いた	29	(7.2)	17	(7.6)	17	(6.9)	19	(6.7)	-	(0.0)	82	(7.0)	0.923
いなかった	309	(76.3)	180	(80.7)	193	(77.8)	230	(81.6)	5	(83.3)	917	(78.8)	
わからない	62	(15.3)	24	(10.8)	34	(13.7)	30	(10.6)	1	(16.7)	151	(13.0)	
無回答	5	(1.2)	2	(0.9)	4	(1.6)	3	(1.1)	-	(0.0)	14	(1.2)	
健康診断の受診に抵抗感や不安を示す生徒がいた													
いた	59	(14.6)	37	(16.6)	36	(14.5)	39	(13.8)	-	(0.0)	171	(14.7)	0.697
いなかった	258	(63.7)	150	(67.3)	166	(66.9)	198	(70.2)	5	(83.3)	777	(66.8)	
わからない	84	(20.7)	33	(14.8)	42	(16.9)	40	(14.2)	1	(16.7)	200	(17.2)	
無回答	4	(1.0)	3	(1.3)	4	(1.6)	5	(1.8)	-	(0.0)	16	(1.4)	
自分の性別に違和感をもつ生徒がいた													
いた	64	(15.8)	53	(23.8)	60	(24.2)	44	(15.6)	1	(16.7)	222	(19.1)	0.120
いなかった	269	(66.4)	136	(61.0)	152	(61.3)	199	(70.6)	5	(83.3)	761	(65.4)	
わからない	68	(16.8)	33	(14.8)	32	(12.9)	36	(12.8)	-	(0.0)	169	(14.5)	
無回答	4	(1.0)	1	(0.4)	4	(1.6)	3	(1.1)	-	(0.0)	12	(1.0)	
男子(女子)だけれども男子(女子)の制服を着ることに抵抗を示す生徒がいた													
いた	69	(17.0)	48	(21.5)	51	(20.6)	34	(12.1)	-	(0.0)	202	(17.4)	0.061
いなかった	277	(68.4)	153	(68.6)	165	(66.5)	221	(78.4)	6	(100.0)	822	(70.6)	
わからない	55	(13.6)	21	(9.4)	28	(11.3)	24	(8.5)	-	(0.0)	128	(11.0)	
無回答	4	(1.0)	1	(0.4)	4	(1.6)	3	(1.1)	-	(0.0)	12	(1.0)	
スカートをはきたがる男子生徒／スカートを嫌がる女子生徒がいた													
いた	82	(20.2)	65	(29.1)	76	(30.6)	44	(15.6)	-	(0.0)	267	(22.9)	0.002
いなかった	271	(66.9)	135	(60.5)	144	(58.1)	210	(74.5)	6	(100.0)	766	(65.8)	
わからない	48	(11.9)	22	(9.9)	24	(9.7)	25	(8.9)	-	(0.0)	119	(10.2)	
無回答	4	(1.0)	1	(0.4)	4	(1.6)	3	(1.1)	-	(0.0)	12	(1.0)	
同性愛と思われる男子生徒がいた													
いた	55	(13.6)	44	(19.7)	37	(14.9)	25	(8.9)	2	(33.3)	163	(14.0)	0.094
いなかった	262	(64.7)	139	(62.3)	148	(59.7)	192	(68.1)	4	(66.7)	745	(64.0)	
わからない	83	(20.5)	38	(17.0)	59	(23.8)	60	(21.3)	-	(0.0)	240	(20.6)	
無回答	5	(1.2)	2	(0.9)	4	(1.6)	5	(1.8)	-	(0.0)	16	(1.4)	
同性愛と思われる女子生徒がいた													
いた	53	(13.1)	44	(19.7)	46	(18.5)	30	(10.6)	1	(16.7)	174	(14.9)	0.118
いなかった	252	(62.2)	139	(62.3)	141	(56.9)	185	(65.6)	5	(83.3)	722	(62.0)	
わからない	95	(23.5)	38	(17.0)	56	(22.6)	64	(22.7)	-	(0.0)	253	(21.7)	
無回答	5	(1.2)	2	(0.9)	5	(2.0)	3	(1.1)	-	(0.0)	15	(1.3)	
性同一性障害と思われる男子生徒がいた													
いた	43	(10.6)	45	(20.2)	38	(15.3)	29	(10.3)	-	(0.0)	155	(13.3)	0.126
いなかった	269	(66.4)	131	(58.7)	148	(59.7)	187	(66.3)	5	(83.3)	740	(63.6)	
わからない	88	(21.7)	44	(19.7)	57	(23.0)	62	(22.0)	1	(16.7)	252	(21.6)	
無回答	5	(1.2)	3	(1.3)	5	(2.0)	4	(1.4)	-	(0.0)	17	(1.5)	
性同一性障害と思われる女子生徒がいた													
いた	53	(13.1)	40	(17.9)	53	(21.4)	41	(14.5)	-	(0.0)	187	(16.1)	0.210
いなかった	257	(63.5)	143	(64.1)	138	(55.6)	176	(62.4)	5	(83.3)	719	(61.8)	
わからない	91	(22.5)	38	(17.0)	52	(21.0)	63	(22.3)	1	(16.7)	245	(21.0)	
無回答	4	(1.0)	2	(0.9)	5	(2.0)	2	(0.7)	-	(0.0)	13	(1.1)	
同性愛について差別的な言動をする生徒がいた(する側)													
いた	74	(18.3)	57	(25.6)	44	(17.7)	35	(12.4)	1	(16.7)	211	(18.1)	0.023
いなかった	265	(65.4)	130	(58.3)	144	(58.1)	182	(64.5)	4	(66.7)	725	(62.3)	
わからない	62	(15.3)	33	(14.8)	56	(22.6)	63	(22.3)	1	(16.7)	215	(18.5)	
無回答	4	(1.0)	3	(1.3)	4	(1.6)	2	(0.7)	-	(0.0)	13	(1.1)	
同性愛について差別的な言動をされている生徒がいた(される側)													
いた	43	(10.6)	41	(18.4)	29	(11.7)	25	(8.9)	1	(16.7)	139	(11.9)	0.067
いなかった	290	(71.6)	138	(61.9)	157	(63.3)	189	(67.0)	4	(66.7)	778	(66.8)	
わからない	68	(16.8)	41	(18.4)	58	(23.4)	66	(23.4)	1	(16.7)	234	(20.1)	
無回答	4	(1.0)	3	(1.3)	4	(1.6)	2	(0.7)	-	(0.0)	13	(1.1)	

表35. 同性愛と性同一性障害に関する社会的理解についての認識(経験年数区分別)

	E県・保健体育										全体 n=1,164	p値	
	0~9年 n=405		10~19年 n=223		20~29年 n=248		30年以上 n=282		無回答 n=6				
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)			
世の中の多くの人は、同性愛に対して偏見を持っていると思う													
そう思う	288	(71.1)	147	(65.9)	155	(62.5)	188	(66.7)	5	(83.3)	783	(67.3)	0.642
そう思わない	46	(11.4)	28	(12.6)	39	(15.7)	33	(11.7)	1	(16.7)	147	(12.6)	
わからない	67	(16.5)	46	(20.6)	49	(19.8)	58	(20.6)	-	(0.0)	220	(18.9)	
無回答	4	(1.0)	2	(0.9)	5	(2.0)	3	(1.1)	-	(0.0)	14	(1.2)	
世の中の多くの人は、性同一性障害に対して偏見を持っていると思う													
そう思う	241	(59.5)	128	(57.4)	141	(56.9)	168	(59.6)	5	(83.3)	683	(58.7)	0.876
そう思わない	68	(16.8)	45	(20.2)	46	(18.5)	42	(14.9)	1	(16.7)	202	(17.4)	
わからない	92	(22.7)	47	(21.1)	56	(22.6)	69	(24.5)	-	(0.0)	264	(22.7)	
無回答	4	(1.0)	3	(1.3)	5	(2.0)	3	(1.1)	-	(0.0)	15	(1.3)	
自分の上司が同性愛者だとわかったら、抵抗を感じると思う													
そう思う	161	(39.8)	96	(43.0)	121	(48.8)	134	(47.5)	4	(66.7)	516	(44.3)	0.044
そう思わない	124	(30.6)	74	(33.2)	57	(23.0)	59	(20.9)	2	(33.3)	316	(27.1)	
わからない	116	(28.6)	50	(22.4)	65	(26.2)	86	(30.5)	-	(0.0)	317	(27.2)	
無回答	4	(1.0)	3	(1.3)	5	(2.0)	3	(1.1)	-	(0.0)	15	(1.3)	
自分の生徒が同性愛者だとわかったら、抵抗を感じると思う													
そう思う	59	(14.6)	38	(17.0)	73	(29.4)	73	(25.9)	1	(16.7)	244	(21.0)	0.000
そう思わない	245	(60.5)	135	(60.5)	107	(43.1)	109	(38.7)	4	(66.7)	600	(51.5)	
わからない	97	(24.0)	47	(21.1)	63	(25.4)	97	(34.4)	1	(16.7)	305	(26.2)	
無回答	4	(1.0)	3	(1.3)	5	(2.0)	3	(1.1)	-	(0.0)	15	(1.3)	
正直な気持ちとして、同性愛のことは理解できない気がする													
そう思う	96	(23.7)	78	(35.0)	84	(33.9)	121	(42.9)	1	(16.7)	380	(32.6)	0.000
そう思わない	194	(47.9)	85	(38.1)	92	(37.1)	81	(28.7)	4	(66.7)	456	(39.2)	
わからない	111	(27.4)	57	(25.6)	67	(27.0)	78	(27.7)	1	(16.7)	314	(27.0)	
無回答	4	(1.0)	3	(1.3)	5	(2.0)	2	(0.7)	-	(0.0)	14	(1.2)	
正直な気持ちとして、性同一性障害のことは理解できない気がする													
そう思う	55	(13.6)	48	(21.5)	56	(22.6)	82	(29.1)	1	(16.7)	242	(20.8)	0.000
そう思わない	245	(60.5)	115	(51.6)	115	(46.4)	114	(40.4)	4	(66.7)	593	(50.9)	
わからない	101	(24.9)	57	(25.6)	72	(29.0)	83	(29.4)	1	(16.7)	314	(27.0)	
無回答	4	(1.0)	3	(1.3)	5	(2.0)	3	(1.1)	-	(0.0)	15	(1.3)	

表36. 性教育や健康教育内容の学び経験(経験年数区分別)

	E県・保健体育										全体 n=1,164	p値	
	0~9年 n=405		10~19年 n=223		20~29年 n=248		30年以上 n=282		無回答 n=6				
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)			
薬物乱用_出身養成機関で学んだことがある	227	(56.0)	75	(33.6)	57	(23.0)	52	(18.4)	2	(33.3)	413	(35.5)	0.000
薬物乱用_独学で学んだことがある	236	(58.3)	142	(63.7)	127	(51.2)	127	(45.0)	3	(50.0)	635	(54.6)	0.003
薬物乱用_研修で学んだことがある	122	(30.1)	135	(60.5)	171	(69.0)	204	(72.3)	3	(50.0)	635	(54.6)	0.000
薬物乱用_いずれかで学んだことがある	390	(96.3)	212	(95.1)	230	(92.7)	267	(94.7)	6	(100.0)	1,105	(94.9)	0.354
薬物乱用_学んだことはない	10	(2.5)	6	(2.7)	11	(4.4)	7	(2.5)	-	(0.0)	34	(2.9)	0.679
いじめ_出身養成機関で学んだことがある	250	(61.7)	64	(28.7)	34	(13.7)	29	(10.3)	3	(50.0)	380	(32.6)	0.000
いじめ_独学で学んだことがある	160	(39.5)	112	(50.2)	97	(39.1)	90	(31.9)	1	(16.7)	460	(39.5)	0.006
いじめ_研修で学んだことがある	165	(40.7)	154	(69.1)	185	(74.6)	207	(73.4)	2	(33.3)	713	(61.3)	0.000
いじめ_いずれかで学んだことがある	384	(94.8)	203	(91.0)	220	(88.7)	247	(87.6)	5	(83.3)	1,059	(91.0)	0.010
いじめ_学んだことはない	16	(4.0)	15	(6.7)	21	(8.5)	28	(9.9)	1	(16.7)	81	(7.0)	0.079
不登校_出身養成機関で学んだことがある	232	(57.3)	54	(24.2)	31	(12.5)	31	(11.0)	3	(50.0)	351	(30.2)	0.000
不登校_独学で学んだことがある	139	(34.3)	105	(47.1)	88	(35.5)	87	(30.9)	1	(16.7)	420	(36.1)	0.008
不登校_研修で学んだことがある	179	(44.2)	158	(70.9)	187	(75.4)	217	(77.0)	2	(33.3)	743	(63.8)	0.000
不登校_いずれかで学んだことがある	372	(91.9)	204	(91.5)	221	(89.1)	250	(88.7)	5	(83.3)	1,052	(90.4)	0.543
不登校_学んだことはない	29	(7.2)	14	(6.3)	20	(8.1)	25	(8.9)	1	(16.7)	89	(7.6)	0.683
自傷行為_出身養成機関で学んだことがある	148	(36.5)	26	(11.7)	23	(9.3)	29	(10.3)	2	(33.3)	228	(19.6)	0.000
自傷行為_独学で学んだことがある	143	(35.3)	94	(42.2)	87	(35.1)	84	(29.8)	2	(33.3)	410	(35.2)	0.299
自傷行為_研修で学んだことがある	124	(30.6)	119	(53.4)	171	(69.0)	185	(65.6)	1	(16.7)	600	(51.5)	0.000
自傷行為_いずれかで学んだことがある	315	(77.8)	175	(78.5)	211	(85.1)	223	(79.1)	5	(83.3)	929	(79.8)	0.223
自傷行為_学んだことはない	83	(20.5)	43	(19.3)	30	(12.1)	53	(18.8)	1	(16.7)	210	(18.0)	0.374
過食・拒食_出身養成機関で学んだことがある	138	(34.1)	27	(12.1)	27	(10.9)	37	(13.1)	1	(16.7)	230	(19.8)	0.000
過食・拒食_独学で学んだことがある	171	(42.2)	109	(48.9)	102	(41.1)	102	(36.2)	1	(16.7)	485	(41.7)	0.176
過食・拒食_研修で学んだことがある	72	(17.8)	107	(48.0)	148	(59.7)	183	(64.9)	1	(16.7)	511	(43.9)	0.000
過食・拒食_いずれかで学んだことがある	299	(73.8)	172	(77.1)	204	(82.3)	238	(84.4)	3	(50.0)	916	(78.7)	0.003
過食・拒食_学んだことはない	99	(24.4)	45	(20.2)	37	(14.9)	37	(13.1)	3	(50.0)	221	(19.0)	0.006
家庭内や恋人からの暴力_出身養成機関で学んだことがある	125	(30.9)	22	(9.9)	12	(4.8)	15	(5.3)	2	(33.3)	176	(15.1)	0.000
家庭内や恋人からの暴力_独学で学んだことがある	153	(37.8)	96	(43.0)	89	(35.9)	89	(31.6)	1	(16.7)	428	(36.8)	0.055
家庭内や恋人からの暴力_研修で学んだことがある	89	(22.0)	104	(46.6)	112	(45.2)	143	(50.7)	1	(16.7)	449	(38.6)	0.000
家庭内や恋人からの暴力_いずれかで学んだことがある	283	(69.9)	155	(69.5)	168	(67.7)	190	(67.4)	4	(66.7)	800	(68.7)	0.954
家庭内や恋人からの暴力_学んだことはない	116	(28.6)	63	(28.3)	72	(29.0)	84	(29.8)	1	(16.7)	336	(28.9)	0.425
性被害_出身養成機関で学んだことがある	151	(37.3)	27	(12.1)	19	(7.7)	29	(10.3)	1	(16.7)	227	(19.5)	0.000
性被害_独学で学んだことがある	179	(44.2)	106	(47.5)	97	(39.1)	87	(30.9)	1	(16.7)	470	(40.4)	0.001
性被害_研修で学んだことがある	82	(20.2)	96	(43.0)	117	(47.2)	138	(48.9)	3	(50.0)	436	(37.5)	0.000
性被害_いずれかで学んだことがある	310	(76.5)	164	(73.5)	182	(73.4)	204	(72.3)	5	(83.3)	865	(74.3)	0.724
性被害_学んだことはない	90	(22.2)	53	(23.8)	60	(24.2)	69	(24.5)	-	(0.0)	272	(23.4)	0.211

表36. 性教育や健康教育内容の学び経験(経験年数区分別)

	E県・保健体育										全体 n=1,164	p値	
	0~9年 n=405		10~19年 n=223		20~29年 n=248		30年以上 n=282		無回答 n=6				
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)			
妊娠_出身養成機関で学んだことがある	230	(56.8)	89	(39.9)	91	(36.7)	103	(36.5)	2	(33.3)	515	(44.2)	0.000
妊娠_独学で学んだことがある	233	(57.5)	140	(62.8)	120	(48.4)	115	(40.8)	2	(33.3)	610	(52.4)	0.000
妊娠_研修で学んだことがある	102	(25.2)	101	(45.3)	126	(50.8)	155	(55.0)	3	(50.0)	487	(41.8)	0.000
妊娠_いずれかで学んだことがある	379	(93.6)	206	(92.4)	221	(89.1)	253	(89.7)	6	(100.0)	1,065	(91.5)	0.199
妊娠_学んだことはない	22	(5.4)	12	(5.4)	21	(8.5)	20	(7.1)	-	(0.0)	75	(6.4)	0.432
性感染症_出身養成機関で学んだことがある	233	(57.5)	88	(39.5)	90	(36.3)	92	(32.6)	2	(33.3)	505	(43.4)	0.000
性感染症_独学で学んだことがある	241	(59.5)	147	(65.9)	129	(52.0)	127	(45.0)	3	(50.0)	647	(55.6)	0.000
性感染症_研修で学んだことがある	102	(25.2)	101	(45.3)	141	(56.9)	170	(60.3)	3	(50.0)	517	(44.4)	0.000
性感染症_いずれかで学んだことがある	386	(95.3)	209	(93.7)	235	(94.8)	264	(93.6)	6	(100.0)	1,100	(94.5)	0.814
性感染症_学んだことはない	15	(3.7)	9	(4.0)	9	(3.6)	11	(3.9)	-	(0.0)	44	(3.8)	0.930
HIV/AIDS_出身養成機関で学んだことがある	236	(58.3)	89	(39.9)	55	(22.2)	42	(14.9)	2	(33.3)	424	(36.4)	0.000
HIV/AIDS_独学で学んだことがある	238	(58.8)	153	(68.6)	134	(54.0)	138	(48.9)	3	(50.0)	666	(57.2)	0.003
HIV/AIDS_研修で学んだことがある	100	(24.7)	105	(47.1)	155	(62.5)	194	(68.8)	3	(50.0)	557	(47.9)	0.000
HIV/AIDS_いずれかで学んだことがある	385	(95.1)	212	(95.1)	234	(94.4)	265	(94.0)	6	(100.0)	1,102	(94.7)	0.931
HIV/AIDS_学んだことはない	15	(3.7)	6	(2.7)	9	(3.6)	10	(3.5)	-	(0.0)	40	(3.4)	0.964
同性愛_出身養成機関で学んだことがある	94	(23.2)	14	(6.3)	11	(4.4)	7	(2.5)	1	(16.7)	127	(10.9)	0.000
同性愛_独学で学んだことがある	140	(34.6)	94	(42.2)	78	(31.5)	85	(30.1)	1	(16.7)	398	(34.2)	0.029
同性愛_研修で学んだことがある	34	(8.4)	42	(18.8)	59	(23.8)	73	(25.9)	1	(16.7)	209	(18.0)	0.000
同性愛_いずれかで学んだことがある	220	(54.3)	116	(52.0)	121	(48.8)	135	(47.9)	2	(33.3)	594	(51.0)	0.377
同性愛_学んだことはない	179	(44.2)	102	(45.7)	122	(49.2)	139	(49.3)	3	(50.0)	545	(46.8)	0.215
性同一性障害_出身養成機関で学んだことがある	99	(24.4)	13	(5.8)	8	(3.2)	7	(2.5)	1	(16.7)	128	(11.0)	0.000
性同一性障害_独学で学んだことがある	144	(35.6)	98	(43.9)	84	(33.9)	87	(30.9)	1	(16.7)	414	(35.6)	0.122
性同一性障害_研修で学んだことがある	38	(9.4)	44	(19.7)	64	(25.8)	75	(26.6)	1	(16.7)	222	(19.1)	0.000
性同一性障害_いずれかで学んだことがある	227	(56.0)	121	(54.3)	129	(52.0)	141	(50.0)	2	(33.3)	620	(53.3)	0.452
性同一性障害_学んだことはない	173	(42.7)	97	(43.5)	114	(46.0)	134	(47.5)	4	(66.7)	522	(44.8)	0.747
生徒の相談内容にかかわる守秘義務について_出身養成機関で学んだことがある	186	(45.9)	50	(22.4)	39	(15.7)	41	(14.5)	2	(33.3)	318	(27.3)	0.000
生徒の相談内容にかかわる守秘義務について_独学で学んだことがある	66	(16.3)	54	(24.2)	43	(17.3)	35	(12.4)	1	(16.7)	199	(17.1)	0.045
生徒の相談内容にかかわる守秘義務について_研修で学んだことがある	221	(54.6)	151	(67.7)	182	(73.4)	198	(70.2)	2	(33.3)	754	(64.8)	0.000
生徒の相談内容にかかわる守秘義務について_いずれかで学んだことがある	351	(86.7)	182	(81.6)	212	(85.5)	224	(79.4)	4	(66.7)	973	(83.6)	0.064
生徒の相談内容にかかわる守秘義務について_学んだことはない	48	(11.9)	34	(15.2)	31	(12.5)	49	(17.4)	2	(33.3)	164	(14.1)	0.243

自由記述

対象：高校保健体育教諭

注) 重複したコメントは適宜省略し、誤字脱字などは出来る限り修正済み。

同性愛・性同一性障害を学校現場で扱う事について

<教育現場で扱うことが必要である>

- 現在までの生活で、同性愛者や性同一性障害と思われる人と深く関わったことは無かった。知らなかったり、気付いていなかった可能性もあるが、これからの教員人生の中で、ひょっとしたら教え子にそういう子がいるかもしれない。そうした時に、子どもが悩みを抱えこまないように、教育していくことで、性の多様性についての全校的な理解を進めていくべきだと思う。
- エイズ感染を増やさないためには、しっかりとした確かな事を生徒に伝えるべきであり、そのため同性愛者等のセックスについて何が良くないのか教えるべきである。(偏見などではなく)
- 性教育の遅さと性犯罪の多さは、比例しているように思う。(諸外国比較) 早い時期に正確に教育を取り入れるべきかと思う。
- 世界に存在して当たり前なものに対しては幼いころから教えておくべき。価値観を無理に、世間一般の常識(その時代の)に当てはめることはできない(=してはならない)。小学校や幼稚園での教育(教える事)を根本的に考え直す。

<教育現場で扱うべきではない>

- エイズに関する内容は、教育の現場で教えるべきだが、性の多様性については、教える必要はないと考える。
- 教えるべき内容であると思うが、逆に刺激して悪影響も考えられるので、難しい内容であると思う。

<慎重に扱うべき>

- 同性愛・性同一性障害は非常にデリケートな問題であると考え。曖昧な知識で授業することは危険であるし、理解するにも興味本位な雑誌等が多く、正しい知識を得る機会がほとんど無いといってもいいくらいである。社会的にもまだまだ受け入れられることの少ない問題なので、教育現場での扱いは、慎重にならざるを得ないと思う。
- 授業の中で性同一性障害や同性愛について取り上げるとしたら、教室の中にそれにあてはまる生徒が、もしいたとすると、どのように授業を進めれば良いのか疑問である。性の低年齢化が言われる今、小・中学生に妊娠・出産などの指導が必要であると言われているが、感染症・エイズを通じて性のモラルをもっともっと高校生にも強く訴えるべきだと考える。
- とてもデリケートな問題だと思う。言えず悩んでいる人も多くいると思う。その中で、1人でも多くの人が理解できる環境が整っていけばいいと思う。心のケアを十分にしながら取り組むべきだと思う。

<教師側が知識不足・研修が必要>

- セクシュアルマイノリティに関する講演や研修会には、数回参加し、理解を深めていけたと思っている。そこでいつも思う事は、このような講演参加を保健関係者だけでなく、管理職や、一般教諭などにもっと幅広く、強く呼びかけながら、学校現場の共通認識として更に浸透していけるよう、啓発運動にご尽力してほしい。
- 保健体育教師の科目保健指導に対する意識を向上させ、幅広い視野と見識を常に磨くべき。そして、教員間での学習の機会を設け、理解ある人間を増やし、生徒達にも少しずつ教育をしてから、環境を整えていくことが必要だと感じる。
- 性同一性障害や同性愛については、まず自分が学習しないと生徒には指導できないように思う。
- 性同一性障害の「障害」の言葉には、「社会的障害」の意味合いが多く、そのように生まれてきたことは自然界では自然のことで、ただ人間社会の中では生きにくさがあるというだけだと思う。同性愛者も同じで、人間社会の規範、道徳からはずれ、秩序を乱すというところで差別されているにすぎず、人権教育としてはそのような偏見をなくす方向で指導していきたい。

<研修に関する意見>

- 同性愛や性同一性障害についての知識が足りないので学びたいと思うが、数日間、講座をする程、勉強することがたくさんあるとは思わない。同性愛も性同一性障害も異性愛も、どれも人間らしい。個性の一つであるというとならえ方をすれば、そんなに学ぶことはないのではないかな。もし勉強するとすれば「社会の価値観を変えていくことができるような取り組みをしていく」ことをしてほしい。それこそ、偏見や差別を生むような特別扱いはするべきではないと感じる。
- 時代によって指導すべき内容は、すぐに変わっていくので、今の時代では、「どう指導する」とか、「ここまでいっていい」「これはいってはいけない」など我々に伝わりやすいように最新のことをゲットできるようにしてほしい。
- 性同一性障害と同性愛の区別は、今一つよく理解できないので、まずはそうした基本的な所が理解できる研修が必要だと思う。
- エイズに関しては 20 年前くらい、性同一性障害や同性愛に関しては 5 年くらい前にこうしたアンケートを実施すべきだったと思う。やや遅い気がするが、今後大いに研修会を開催して若い教師に勉強させてほしい。
- 今までの研修などには、あえて同性愛や性同一性障害については触れられてこなかったような気がする。今、現在テレビなどにタレントとして同性愛者や性同一性障害者の方が出演されて、少しずつだが、世間が認めるようになってきたが、数年前まではほとんど理解されてこなかった分野である。我々教師も時代の流れからすると、このような分野も研修していかなければならないと感じている。
- 同性愛、性同一性障害など、性の多様性について話題になっていることも多く、自分自身も勉強したいと思うので、研修等があれば受講したい。
- 性は大事なので、よく考えて、言動しなくてはならない。研修ももう少し、あった方が自分の勉強になる。

同性愛・性同一性障害に関して

<同性愛・性同一性障害に関する教育について>

- 今後これからのマイノリティに焦点を当てていくのが本当に良いのだろうか。それよりもやはり、一般的な基礎を学ばせることの方が大切であり、優先すべきではないだろうか。
- 性同一性障害や同性愛は、ある種の病や個性として考えられるが、不登校・DV・性被害等は、複雑な精神的な問題がからむので、対処に困る教員だけでは対応しきれない問題で、むしろ、専門的な人が対応してもらえるようなシステムが必要であると思う。
- 日本では、まだ性同一性障害や同性愛の人の人権は守られていない状態なので、教育を通して、そのような偏見がなくなるよう、高校生に教えられると良いと思う。
- 同性愛・性同一性障害について、よくわからないから、授業で内容を指導する場合、とても抵抗感を持ってしまう。講演などの研修の機会を利用して、自分自身も正しい知識や理解を持たなければ、考えることは、とても難しいと思う。
- 情報の不足を強く感じる。潜在的に多様な人間（人格）が居るのであれば（社会的に問題となっている）、早急に「考えるべき内容」を精選すべきである。心の動きが大きい中・高校生に、正しい認識を持たせる為にも学識者が文科省に提言すべきである。まずは、文科省に提言する準備として、「性に関する」部会を多く立ち上げて、各方面から推し進めて欲しい。現場の教員が、唱えても声は届かない。
- 教える現場にいる立場の先生は、新しい事例や問題・病気・事故などについて学び、新しい世の中に正しく対応しなければいけないと思う。
- 大人の私ですら、同性愛や性同一性障害のことについて詳しくない。子供に対して、教えるのであれば、教材や環境を十分に考慮する必要があると思う。難しいと思うが、目をそむけてはいけない部分だと思った。
- ほとんどの人が性同一性障害や同性愛については認識しているが、それを子供達に、差別のないように理解させるためには、どのように教育をすべきなのか。本人の前で、どこまで話をすればいいのか、傷付けてしまうかもしれないし、周りの理解が必要なのかもわかる。デリケートな問題なので、授業で取り入れるには、実際に問題を抱えている人の話も聞いたりできる機会があると教えやすくなるのではないかと思う。
- 性同一性障害の男子が1人本校にいるが、学年が上がるにつれ認められたい欲求が強くなり、他の生徒も何人か理解しているが、生徒が嫌がる事もあり（トイレ・旅行先・研修先のお風呂など）、その指導をどうすればいいのか、どこで線を引けばいいのか迷う。
- このアンケートをやりながら、自分はどちらかという“性”に関して、健全な意識を持った生徒達が集まっている学校に勤務していることが認識できた。同性愛と性同一性障害に関する知識は、近い将来的には、非常に重要性を帯びてくると思うので、保健体育科の教員として、又、教育相談担当者として、学んでおく必要性は大きいと思った。
- 特別支援学校では、保健授業がとても軽く見られている。（特に知的障害）子供たちの卒業後の社会参加を考えればもっと大切にしてほしい授業である。世間の流れを考える前に特別支援学校で子供たちに関わっている教師の意識を変えなければこのようなアンケートをする意味がなくなってしまう。どうか教師の意識改革のために尽力していただきたい。私自身も校内で保健の必要を発信し続けたい。
- 性教育については、低年齢の時期から学ぶことで、成長とともに、相手を尊重できる人格になるよ

うに思う。また、低年齢時から、正しい知識をつけさせることで、今回の同性愛等のことにもただ偏見することもなくなり、1人の人間として理解を持てるのではないか。幼い頃からの積み重ねが必要であると思う。

- 同性愛者と話をしたことがないので話を聞いて勉強したい。生徒間でそういうことが増えてきたのなら対策が必要。性交渉も含めて。
- 個性と関わる場所なので、授業でどう扱うかは難しいところである。そのような状況はあり得るという程度で、本当にそこに居る生徒には個別対応と思っている。
- 養護学校なので、暦年齢と生活年齢の違いや、理解（認知度）の違いがあるので、単純に何年生だからこの内容が必要という視点では語れない。個別に必要なケースに対応しているのが現状である。このへんがもう少し整理できるとよいとは感じているが、なかなか手つかずである。
- 同性愛や、性同一性障害については、保健に関する他のものより、私を含め、詳しく知っている人は少ないと思う。だから、ドラマなどでとり上げられたものの印象くらいしかない。もし私（教員）がしっかり勉強して、生徒へ伝えようとしても、生徒に現実的に考えさせる方法が思い浮かばない。このアンケートで、同性愛・性同一性障害についても考えなければいけないと思えたので、学習できる教材や資料等がもっと増えると良いと思った。
- 性感染症・エイズ等に関連して、「同性愛」や「性同一性障害」などについて生徒に、考えさせることは大切な事ではあると思う。しかし、1単位（1年時1単位、2年時1単位）の授業の中で、どこまでやれるかは疑問である。新たなことを学習するのであれば、一方で削除する内容があるべきである。現代社会や家庭科・理科（生物）などの内容と重複することをもう少し精選してほしい。
- 「性」を人の生き方の問題として、生徒に学習するという観点がやや気薄な気がする。自分と周囲の関係の中で自身の生き方を考えさせる内容がもっとあるとよいと思う。

<同性愛・性同一性障害そのものについて>

- 性同一性・同性愛は教育でなんとかなる問題ではない気がする。マスコミの対策はしないといけない気がする。余りにも多くのタレントが毎月テレビに出ていて、当たり前のように映っているには問題があると思う。
- エイズの差別について、「エイズ患者に対して差別をしない自信があるか」の質問に対して、本校の生徒はほぼ100%「Yes」と答えるが、もしも、親の立場で「自分の子供の周り（コミュニティ）にエイズ患者がいたらどうか？」と質問すると、80%くらいの生徒は自信がないと答える。立場が変わると、答えも変わって来る。
- 趣味・嗜好を各自で持つ事は責められないが、それを職業とするのには問題がある。マスコミ対策をお願いしたい。授業では地域・コミュニティでどうすべきか考えるところまで行っている。ハードルがどんどん低くなって来ている昨今、指導は大変難しい。
- 性同一性障害についてよく分からない。
- 同性愛によるエイズ感染があるということで、まだまだ誤解されている部分が多いと思う。きちんと理解した上でエイズなどの予防法を広め、個人を尊重すべきだと感じる。
- 性同一性障害や同性愛について深く考えたことがない。
- 頭の中では理解しているつもりでも、もし、同性愛・性同一性障害の人を目の前にするとかなりの抵抗を感じると思う。
- 性同一性障害や同性愛の人が身近にいたことがないので、あまり分からない。偏見などがあり、カ

ミングアウトできない気もする。なので、知られないように生活しているのではないだろうか。

- 私は性同一性障害・同性愛に偏見・抵抗が全くない。1人の人間として差別等なくし、共存していくべきだと思う。私のような考え方をしている人がどれだけいるかはわからないが、もし今後、これらの問題についての教育が進められるならば、積極的に参加したい。ただ、教科書の内容として入れるのは授業時間上指導が中途半端になるかもしれないと思う。
- 他国では認められている同性愛の結婚がなぜ日本では、認められないのかが、わからない。私は、同性愛者じゃないが、不思議に思う。
- 人権と人類の存続を考えた時に、答え方に凄く困る。また、自分自身に子供がいることに、幸せを感じるので、尊重したい気持ちはあるが、それも伝えていきたい。
- 学生のころ、同性愛（どちらかというパイセクシャル）の人に襲われたことがあり、かなりトラウマになっている。今でも男同士で触られたりすることに少なからず抵抗を感じる。今になって（6年程経って）考えると、同性愛者は、社会のマイノリティであるような扱いを受け、アイデンティティを発揮する場がない為、あのような行為に至らざるを得なかったのかも知れないとも思う。
- 同性愛者が実際周りにいないので、よくわからないのが現状である。もし機会があれば、そういう人と話をしてみたいと思う。
- 分からない事、不思議なことが多すぎて、正直分からない。女性同士でカップルのように過ごしている姿を見つけても、「なんで？」という気持ちが生まれてしまう。知識として教えてもらってれば、ある程度は受け入れられるというか、理解できる様に思う。
- 現在マスメディア等で、面白おかしく取り上げられることが多くなってきた様に思うが、知る人ぞ知る程度でそっとしておいた方が良いのではないかと思う。
- 性教育は専門機関で活動してきた。授業では30年以上性教育を取り入れている。学校は閉鎖的である。
- 本人達は皆に知ってもらいたいのか、そっとしておいてもらいたいのかかわからない。
- 最近では、芸能人の中でも、同性愛や、性同一性障害の人がテレビに出ているので、メディアの中でも少しずつ、意識されたり、関心が持たれたりしていると思う。
- 性同一性障害と言われるのが本当に障害なのだろうか。個性ではないだろうか。同性愛は個人の自由だと思う。あまり周りがとやかく言わないこと。
- 実際のところ、同性愛や性同一性障害、女装癖など、最近よく目にするようになったが（テレビなどで）、区別がよくわからない。扱うポイントを絞らないと何を扱っているのか、何が大切なのかぼやける気がする。HIVに関する事で扱うのか、差別偏見で扱うのか、人権とかで扱うのか、そのスタンスでもずいぶん教え方は異なると思う。
- 家族・知人・友人等、身の回りで、同性愛者や性同一性障害の人を見たことがないので、わからない。
- 同性愛と性同一性障害の違いをあまり考えたことがなかった。同性愛は好みの問題。好きなタイプとか「～フェチ」とかみんなそれぞれ違うのと同じようなもの。性同一性障害は、脳と体のズレ。数%の確率で起こると聞いたことがある。授業で1時間とか使ったことはないが、なにかのうちに触れることはある。自分がそうだからと言って変に思うこともないし、それで差別するのも違う。顔や体格、髪質、性格が違うように受け入れていけばいいというような話である。
- 私はたぶん気にしないが、社会的にはなかなか受け入れられないだろうと思う。また、認めたからと言って、増えるわけではないが、増えると人口減少につながると思うことはある。同性愛者間に

子どもはできなくても、子どもを持ちたがる人々については、エゴだと私は思っている。

- 約 20 年前の事で現在のような性同一性障害という言葉も一般化していない状況だった。保護者は「これでも女の子ですから…」とあきらめの表情。いわゆる性同一性障害の女子生徒であった。2 年生の秋に退学。

<同性愛・性同一性障害を取り巻く社会について>

- 10 万人に 1 人といわれる性同一性障害も今は、手術もでき、戸籍も変えることのできる時代になった。また、同性愛者についても、タレントが多く出てきているにも関わらず、まだまだ偏見の多い日本である。まだまだ、色々と改善の余地があろう。
- 個人的な問題をどこまで学校で扱うべきかとも思う。同性愛、性同一性障害を授業等で取り上げれば取り上げる程、理解よりも特別な存在としてしまうのではないかと思う。理解し、考えられる年齢は様々だと思うし、状況・環境も関わってくるだろう。大変難しい問題であると思うが、その人も 1 人の人として関われる世の中になることを願う。障害がある、ないも、最後には心の問題として、共感できるものがあるからだ！ボランティアという言葉も 1 人歩きしそうだが、奉仕活動を何度も経験して心のある人間が増えて欲しいと思う。
- 少数の性的指向者が差別や偏見を受けていることは、HIV 感染者及びエイズ患者に対するそれと同様である。ノーマライゼーションを目指し、人間的愛情を育む教育こそが解決の手だてであると思う。
- 選択肢が適切でないものがあるように感じたため、本意とは違う回答になる質問があるように感じた。文科省の対応が遅いため、学校独自の判断で、子供に伝わっていくこと、または伝わっていないことや、マスコミなどによるかたよった情報のせいで誤解している生徒が多いのが現場の状況である。
- あらゆるところでバリアフリーとなっている時代であるが、今の世の中何かをとりあげると、それが特別視される傾向になっていくのが、非常に悲しい。いろいろな「こと」「人」が自然に変わり、差別のない世の中をつくってほしい。「区別」することと「差別」することは違うが、それが混同しているのではないだろうか。
- このような内容は教員のなかでも受けつけることができない人がいると思う。しかし、子どもたちが触れる社会は、まず学校なので、その学校でそのような子どもたちを知らず知らずのうちに傷つけてしまうことを少なくすることは必要だと思う。同性愛についてはその時好きになった人がたまたま同性に分類される人で悩むことは多いと思うが、私は生きていく中で人を愛することができるという感情を持てることの方が重要だと思う。

<同性愛・性同一性障害と向き合うための意気込み>

- 一人で不安をかかえていると思うので、そのことについて、話ができる環境づくりに努めたい。(まずはつながる場づくりが大事と感じる)。
- 私は性同一性障害の人や同性愛の方を、大切にしたいと思う。だけど、このような思いがそもそも偏見なのかと自分自身思ってしまう。HIV/AIDS に関しては、絶対に感染してはいけないと思う。自分自身が感染源・経路・状況など、しっかりと理解した上で、その方々とお付き合いしていきたい。人との繋がり大切にしたい。だからこそ、生徒に強く伝えるべきであると思う。それが私たちの仕事であるように思う。

<経験・体験>

- 今までの教育経験の中では、性同一性障害や同性愛であるとはっきりと認められる、又自分からも主張している生徒は居なかったので、よくわからない。
- 女子生徒が小学校から同性からいじめられることが度々あり、その都度、女子のグループ化、陰湿さに嫌気を感じ、男子みたいに生きたい、と欲していたという生徒が、高校を卒業したら「スカートは絶対履かない！男として生きていこうと思う、今はガマン！！」と欲していた。彼女は心の傷を性別のせいにしたのではないだろうかと思ひ、男になりたいという気持ちを聞くより、過去の心の傷の治療が大切だと思つた。
- 私自身は同性愛者・性同一性障害ではないが、学生の頃、その悩みを抱えた友人が何人かいた。実際に教員として働く中でも、生徒から「今、女の子と付き合っている（女子）」という話も聞き、悩んでいるということを知ったこともある。本人達が1番戸惑っていると思うので、自分自身を知るためと、“自分がおかしいのではない”ということを知ることができる内容のものであれば、授業で触れても良いと思ひ、ジェンダーの問題は社会に出ても続くと思ひ、できるならやりたい。
- 「自己理解と他者理解」を一つのテーマで授業をすることがある。（現在の保健の教科書には単元として設定されていないが）「いろいろな考え方、嗜好があり、それは人それぞれ、肯定することも大切だよ。」と教えている。昔とちがってエイズは糖尿病と同じで上手に付き合っていけば、普通に生活できる病気だよ。「エイズ=死」ではない。と教えている。
- 私の周囲にはとても多いので、いろいろな話を聞いたことがある。本人達は、理解してくれそうな人にしか話せないと言っていたので、周囲や社会の受け止め方や受け入れ方が大切だと思ひ。また、授業で扱う場合には、そのクラスに性同一性障害や同性愛者がいるのかどうか、いた場合にはその子が嫌な思いをする授業内容でないかを考える必要があると思ひ。ホルモン注射をして、性別を変える友達も多くいるが、周囲が偏見を持たず、病気や障害と思わないでほしい。
- 男子生徒が同性の職員に対して、好意を持つようになり、具体的にいつも一緒にいたい、身体に触れて居たいという相談を受けた。その想いがかなえられないと、感情的になったり、暴力的になったりした。その生徒の話聞きながら、気持ちをやわらげることに専念し、医療との連携を持った。
- 自分の娘が中学時代、性同一性障害と思われる男の子がクラスにいた。変人扱いする友達もいたようだが、比較的の学校全体が自然にうけとめ、偏見をあからさまに表す生徒も少なくその子はのびのびと生活していた。中学校としての取り組みがどうだったのか知らないが、子供達はその子の個性として受け入れられていたことに、驚かされた。
- 現在、性同一性障害、同性愛に関係している問題が多くなってきている。大学時代、初めはそうした子に対して、どう接したらいいのか、どうしたことなのか理解できなかった。（性同一性障害の友達）しかし、接しているうちに、1つの個性であると感じた。社会では、認識されつつあるが、まだまだであると感じている。社会の中には男女だけではなく、違った個性も持っている人がいること、それは、変なことではないことを、伝えることが必要であると、体験することで感じている。

<よりよい社会にしていくための考え方>

- 自分には、性同一性障害・同性愛者の友人がいる。その友人は、誰にでも、オープンに自分の話を堂々としてくれるので、いろいろ初めは戸惑ったが、理解しようと話を聞くことができた。オープンに自分の事を話してくれる、話せる人はいいが、話せずに悩んでいる人に対しては、気付かず苦しい接し方をしているかもしれない。世間の理解度を上げ、話しやすい、打ち明けやすい

い環境を作ることが、これから必要だと思う。

- 世の中には、さまざまな特徴を持った人がいる。障害を持っている人、そうでない人、こういった人たちを、受け入れる環境が整っているかいないかが重要だと思う。1人の人間として差別なく受け入れられる、心の大きさがあれば、性同一性障害も同性愛も障害のある人も、そうでない人も関係なくなるように感じる。

その他の感想

- 苦しんでいる生徒は、多数いる。1日でも早い行動が必要と感じる。
- 自分の身近に上記の人物がいないので全くわからない。
- これからどのような時代になるのか少々不安である。
- 同性愛というよりも、両性愛の知人が数名いる。
- 世の中に認められるようになりたいと嘆く同性愛者の友人がいる。
- 数多く、まあまあの基準（数とか）が分からない。
- 質問の仕方がよくわからない（何を聞かれているのか）ものがあった。
- 保健教科については担当していない為、回答しにくい部分があった。
- 身近にはいないし、問題になったこともないが、今後の参考として認識を新たにすることは大切である。
- 今まであまり考えたことがなかったが、今回のアンケートで少し考える必要があると感じた。
- 同性愛の人が居たとしても、現在は隠さざるを得ない状況（社会全体が受け入れないから）なので、表立ってはわからないと思う。なので、周囲にいるかどうかはわからない。
- 現場の先輩方の教えが最も役に立っている。近くに相談できる人がいること。多くの経験をしているベテランが近くにいることが、最も大切だと思う。
- 何事も偏見で指導しないほうがよい。
- 男子校ではあるが、今まで、性同一性障害や同性愛については相談を受けたことがない。うわさも聞いたことがない。
- ゲイバーなどによく飲みに行くので友人は多い。おもしろい人が多いので特に何とも思わない。
- 保健体育の教師が主に性の指導をする機会が多いと思うが、同性愛や性同一性障害の教師が少ないと思う。身近な問題としては感じられない気がする。
- 日本にはどれくらいの数の同性愛者（性同一性障害）がいるのか。TVでも「おネエ」と呼ばれる人が、活躍してきているので、今が理解するチャンスだと思う。

自由記述

対象：養護教諭

注) 重複したコメントは適宜省略し、誤字脱字などは出来る限り修正済み。

同性愛・性同一性障害を学校現場で扱う事について

<教師側が知識不足・研修が必要>

- 教師側の知識不足、それによる偏見があり、相談できず悩んでいる子どもが多いと感じる。もっと勉強し、話しやすい環境、受け入れる力を教師が身につけていかなければならない。研修の機会を増やしてほしい。(一部の教員ではなく全員が研修すべきである)。

<研修に関する意見>

- 養護教諭や保健主事以外の一般職員（管理職含む）への研修を必修にしてほしい。(保健関係職員は基本的に知識があると思うので)
- 実際、現場に出てみると、性教育に対する授業が行われていた(行われやすい)のは小中学校。高校(特に進学校)は、授業や指導が行える時間の確保がとても難しく感じた。性同一性障害や同性愛はとても大切なことなので、小・中で取り組めると大変ありがたい。研修があればぜひ参加してみたい。
- 研修をする時間があれば、是非受けたいと思っている。受診をすすめるのかどうかという点で迷っている。ただありのままの彼(彼女)を受け止めてあげることにとどまり、組織的に支援できるようには、まだ出来ていない。
- 研修する機会を沢山いただき、多くの人が正しい理解ができ、生徒本人が普通に幸せに生活できることを祈っている。そのために私たちがすることはまず、研修、連携だと思う。
- 7月に行われた研修会に参加した。性の多様性について子ども達に教えたいと思うが、実際の教え方の手立てがわからない。
- 性に関する研修は1回受けただけでは、理解できないと思う。人間が成長するなかで、いろいろな経験や体験、又、社会情勢によっても知識や理解が変化する。特に小学校から高校(大学)まで繰り返し学習していかないといけない大切なことだと思う。現在、高校勤務だが、小・中学校で学んだことが、間違っ覚えていたりしている生徒は多い。

同性愛・性同一性障害に関して

<同性愛・性同一性障害に関する教育について>

- 小学校勤務経験、高校勤務経験から、100人に1人くらいは同性愛や性同一性障害の疑いがある生徒がいるような気がする。個人的な印象としては、「男の子っぽい女子」は割と目につきやすく、障害を疑いやすいのだが、男子の中でみつけるのは難しいような気がする(男子の方がうまくばれないよう生活している?その分一人で悩んでいるのかも?)。世の中の理解が広がればいいと思うが、学校の授業の中で取り上げるには難しいテーマかな…と思う。(教員の中でも理解を示してくれる人ばかりではないので、同性愛やら性同一性障害をテーマに取り上げるだけで「へんな教員」

と見られそうな雰囲気もあるため)

- 同性愛、性同一性障害について、何を生徒に教えるか、何がポイントなのか、どうしてこの内容を教える必要があるかがわかりやすく示されれば、教える側も、大人ももっと身近なこととして思えるし、大切さもわかると思う。大切なこととは思っていても、なかなか時間の確保が難しい。やはり、学習指導要領や文科省・県教委が指示をしてもらえると、一教員としても機会を設定しやすい。
- 性同一性障害も同性愛も本人のせいではない。自然にそう思ってしまう事だから、人と違って苦しいことも多いと思う。実際に偏見はあるだろうし、自分もその人に出会ったら戸惑いもあるかもしれない。でも、大切な人だったら、それは大きな問題ではなくなるかも。少しでもまずは子どもの時から理屈を教えるべきではないかと考える。
- 同性愛や性同一性障害に理解はあっても、やはり心の中では偏見を持っているひとたちがたくさんいると思う。小・中学校からの教育が必要であると感じる。
- 現代は、様々な性のあり方について、世間の理解度もあがり、否定的な意見は少ないように思う（特に若い世代では）。でもそれは、幼児学童期にはまだ分からないこと、おもしろ半分でとらえてしまうことはあり得るので、若い時からの教育は必要だと思う。
- 性に関することや人権に関することは、できるだけ早い時期から教育をした方がよい。また、生徒はすぐ忘れてしまうので、繰り返し勉強できるようなカリキュラムがあれば良いと思う。

<同性愛・性同一性障害そのものについて>

- 性の多様性については、マスコミの報道方法に疑問を感じる。子どもは影響されやすい為、正しい情報、せめてマナーは押さえておいてほしい（偏見や差別はおかしい）。性はグラデーションなので、自分自身も女だと言えるか、ヘテロセクシャル（異性愛者）かゲイかはわからないと思う。
- 友達で何人かいたが、大学ということで、みな慣れてしまって特に気にしなかった。ただ、自分の意志（女であれば、男が好きになるはず）があれば男側の女の人は、好きにならないということがわかった。

<同性愛・性同一性障害を取り巻く社会について>

- 10年以上前、全国レベルの研究会に出席した際、他県の養護の先生が、性同一性障害の生徒のことを発表されたことを覚えている。自分の身近では、今まで2人それと思われる生徒と出会った、相談を受けることや、悩んでいる様子はなく（実際はちがったかもしれない）、特に問題に思うことなく、この年齢まで来た。毎回このようなアンケートが示されるということは、思った以上の状況なのかと思った。
- 大学時代に初めてセクシュアルマイノリティについて学び、教員になってからも研修でよく話を聞くので、同性愛や性同一性障害の違いはだいぶ理解できるようになった。確率としてクラスに一人いてもおかしくないにもかかわらず、私は相談をうけたことも、そのような気になる生徒に出会ったことがないのは、社会がまだ言い出しにくい雰囲気だからだと思う。周囲の人が、偏見をまず持たず、みんなそれぞれの個性として受け入れられる雰囲気ができるといいな、と思う。
- とにかく子どもたちが一番影響を受けているのはマンガ（アニメ）だと思う。間違った認識（自分のアイデンティティなど含む）が形成される前に正しい知識を与えることが必要だと思う。
- 告知がなければ分からない。知らずに傷つけていると思う。社会、特に学校は、男女の区別を必要とするので、毎日の生活が苦痛な人も多々おられるだろう。それでも、少しずつ、オープンにする

人が増えているので、みんなで生きやすい社会になればいいと思う。

<同性愛・性同一性障害と向き合うための意気込み>

- マイノリティの人たちは、セクシュアルアイデンティティが確立するには、かなりの葛藤の時期が必要だと思う。中・高校生はちょうどその時期に当たるので、生徒がづらい思いを一人で抱えてしまい、危険な（誤った）情報に振り回されることのないよう、養護教諭として支えられたらいいと思う。自分で無意識のうち偏見を含んだ事を言ったり、対応してしまっていないか？と不安に思う。
- 多様なセクシュアリティについての知識や対応力について、自分自身がもっと学んでいかなければと思う。
- 身近に存在するのかもしれないが、打ち明けられたこともないし、気づけたこともない。私自身ももっと経験を積んで、生徒・友人から信頼される様になったら変わるかも？何ができるかわからないけど、力になりたいとは思っている。

<経験・体験>

- 性的マイノリティについては、さまざまな勉強会に参加して、理解しているつもりである。学校では、若い人は多様性に柔軟であるが、年配の方々は全く理解できないようである。保健室では「ことば」や「掲示物」に気を付けたり、メッセージを送ったりというささいなことしかできていない。
- 定時制勤務で様々な生徒がいる。そのためか、「性同一性障害」や「同性愛」についても一定の理解があるように思う。「制服が無いから定時制を選んだ」という生徒もいた。
- セクシャリティの問題について関心がある。大学時代も、卒業論文にて「性について」研究（というほどではないが…）していた。友人にも、性同一性障害の子や同性愛者がいるし、今までそのようなタイプの子から告白（お付き合いしてほしい）されたこともある。難しいとは思っているが、個性の一部として受け入れていただける環境や社会になれると良いなと個人的に思う。
- 現在の勤務校をたずねる設問がありませんが、現在は高等学校に勤務している。検診などで人前で服を脱ぐのを嫌がる生徒がおり、性同一性障害であったことがわかり、あとで反省した。そのような場合に限らず、様々な場面で、個人やプライバシーについてはじめから配慮がなされていれば、少しは過ごしやすかったのでは、と思う。
- 性同一性障害の方と同性愛の方と同じ時期に関わりを持っていたことがある。私自身が3児の母であるが、好きな方が女性でも何ら関係なく思っている。大事なものは“性”ではなく相手を想う気持ちである。一番大切だと思っているのは、彼ら（彼女ら）の精神的ケアを支える機関だと思う。なかなか風邪をひいて内科に行くという気軽さがない現状なので、身近な理解者がそばに居てあげられたらと思う。

<よりよい社会にしていくための考え方>

- 同性愛や性同一性障害について、偏見を持っている生徒は少ないように感じる。しかし、偏見や差別はないが「普通」「みんなと同じ」と言っている生徒が、本当に同性愛や性同一性障害の人のことを理解しているのかというと、違うのではないかと考える。「普通」「みんなと同じ」という事で、それ以上考え、理解しようとするのをやめてしまっているのではないだろうか。もし、そうであれば、それは「自分には関係ない」「無関心」であることとおなじだと思う。生徒には、ぜひ、偏見や差別だけではなく、理解を深め、ともに考えることのできる人になってほしい。

- 直接の友人ではないが、友人（男）の友人 2 人は同性愛者。一人は公務員で普段はスーツを着て普通に仕事をしている。2 人とも、かわいらしい感じ。2 人でいつも仲良く楽しそう。周りも認めているし、2 人を含めてみんなで男女のグループとして成り立っている。成人する前まではどのように過ごしてきたのかはわからないが、大人になっていい環境（同性愛者のみではなくその他の友人とも関われる環境。同じ者同士の集団だけだと、偏見につながってしまうと思う）にいらればそれぞれのアイデンティティは確立されると思う。

その他の感想

- 同性愛や性同一性障害が病気である、というようなニュアンスの質問が多いと感じる。私は養護教諭で、ゲイやレズビアンの子と何人か関わってきたが、特に困ったことも、特別に配慮しなければいけないこともなかった。ただ、ゲイの子が担任に「なんで男の子が好きなの？」と聞かれたから困ったとっていたのにびっくりした。その子は「じゃあ先生（男性）はなぜ女の子が好きなの？」ときいたそうである。男は女が好き（異性愛）、と決めつけている教員が多いと感じる。
- 家族の影響を受けることもあると思う。男性同性愛をエイズ教育にすぐ結び付けるようなことはしないでほしいと思う。
- 「性」に関しては、理解度により、指導が変わると思う。（教員の心ない一言で傷つく生徒もいると思う）
- 上戸彩さんが演じた金八先生シリーズの性同一性障害に悩む中学生の姿はとても印象的であった。
- 近年、芸能界でオネエと呼ばれる人たちを多く観るようになった。社会的にも少しずつ受け入れられるようになってきた（？）が、実際に性同一性障害や同性愛について学ぶ機会は本当に少ないと感じている。正しく理解するためには、正しい知識が必要であると思う。もっと学びの場を増やしていかななくてはならない。
- 性の多様性については、性分化疾患についても学びたい。器質的な疾患ではあるが、性同一性障害と混同されやすい。もっと勉強したい。
- 性同一性障害、同性愛について関わった生徒がいないので、他人事であった。このアンケートで何も知らないことに気がついた。
- 教員は、様々な特徴を持つ多くの生徒とかかわる職業であり、偏見を持つことなく、平等に接することは義務であると思う。また、一般とは少し異なる特徴を持つ生徒の将来を共に考えるためには、その特徴を正しく理解することが不可欠だと思う。教員個人の適性はあるだろうが、知識として身につけておかなければならないことだと思う。
- 実際に関わりがあることが一番学びになると思う。

研修の内容に関するアンケート

注) 重複したコメントは適宜省略し、誤字脱字などは出来る限り修正済み。

講義内容に対する時間量

<充足を感じた講義など>

- パワーポイントの講義
- 実際の体験談
- グループディスカッション
- 知識について、ざっくりと話し合うこと
- スタッフのライフストーリー
- 当事者の話
- DVD
- ファシリテーターの方の話
- ファシリテーターさんとのワークショップ
- LGBTの人が自分のことを話されたこと
- ビデオ・カミングアウトの話

<不足を感じた講義など>

- ディスカッション（もっと時間があるとよかった）
- 多くの人の話を聞きたい
- グループディスカッションやライフストーリー、ゆっくりお話を聞きたかった
- DVD
- パワーポイントの講義
- 実際の体験談
- セクシュアルマイノリティについての知識がそもそも全くない方もいるので、先に概要のみでも話してほしい
- 学校の中でセクシュアルマイノリティの生徒が変えてほしいと思っていること、問題だと感じていることをもっと知らせてほしかった

講義の難易度

<一番分かり易かった講義等>

- DVDを使っでのディスカッション・研修
- 体験談
- パワーポイントを使っでの説明
- 当事者の方の話
- グループディスカッション
- ファシリテーターの方のお話